

① 孤立性

・定義

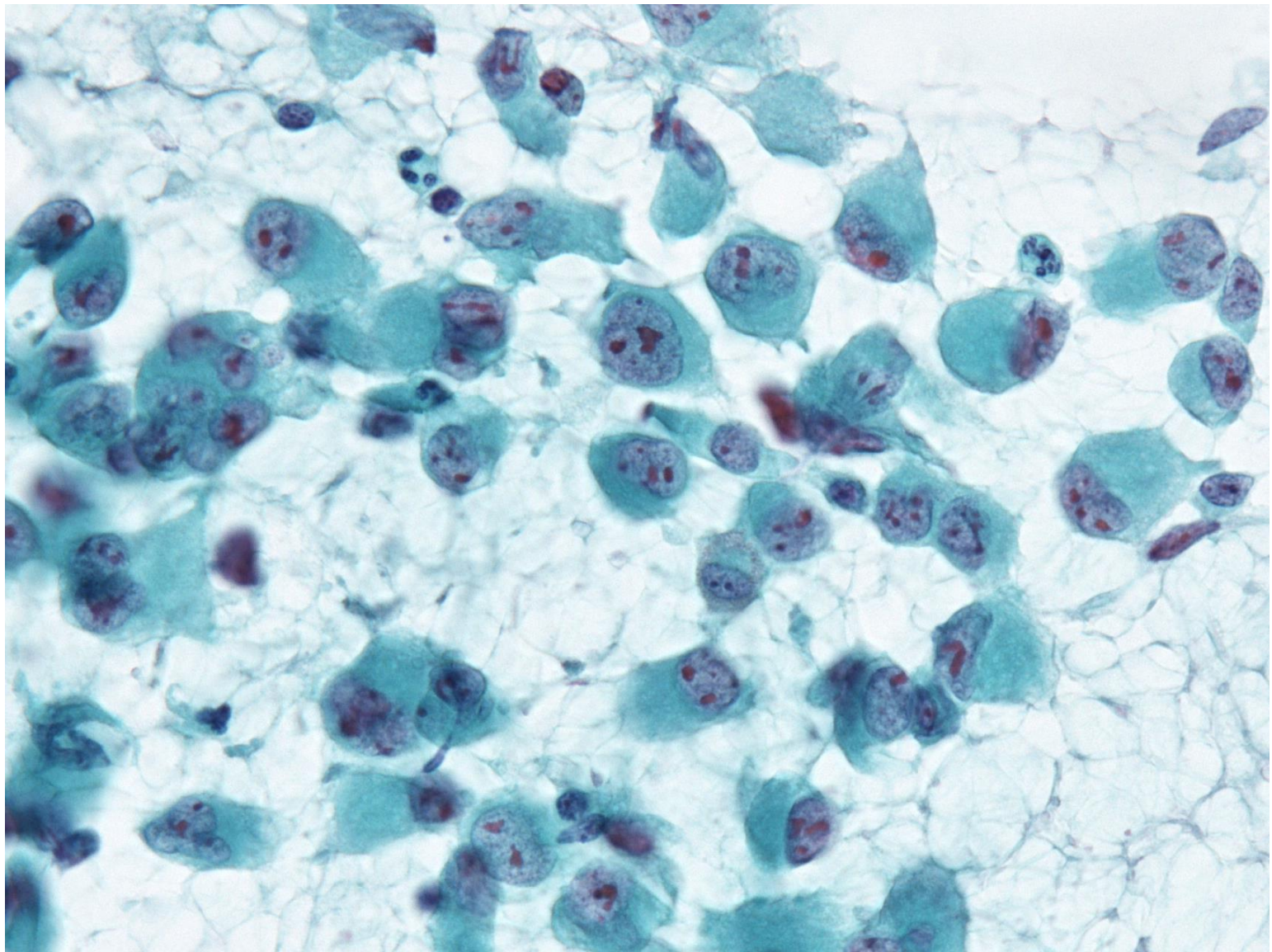
細胞の結合性が低下し、バラバラに存在する。

・組織型の推定と補足

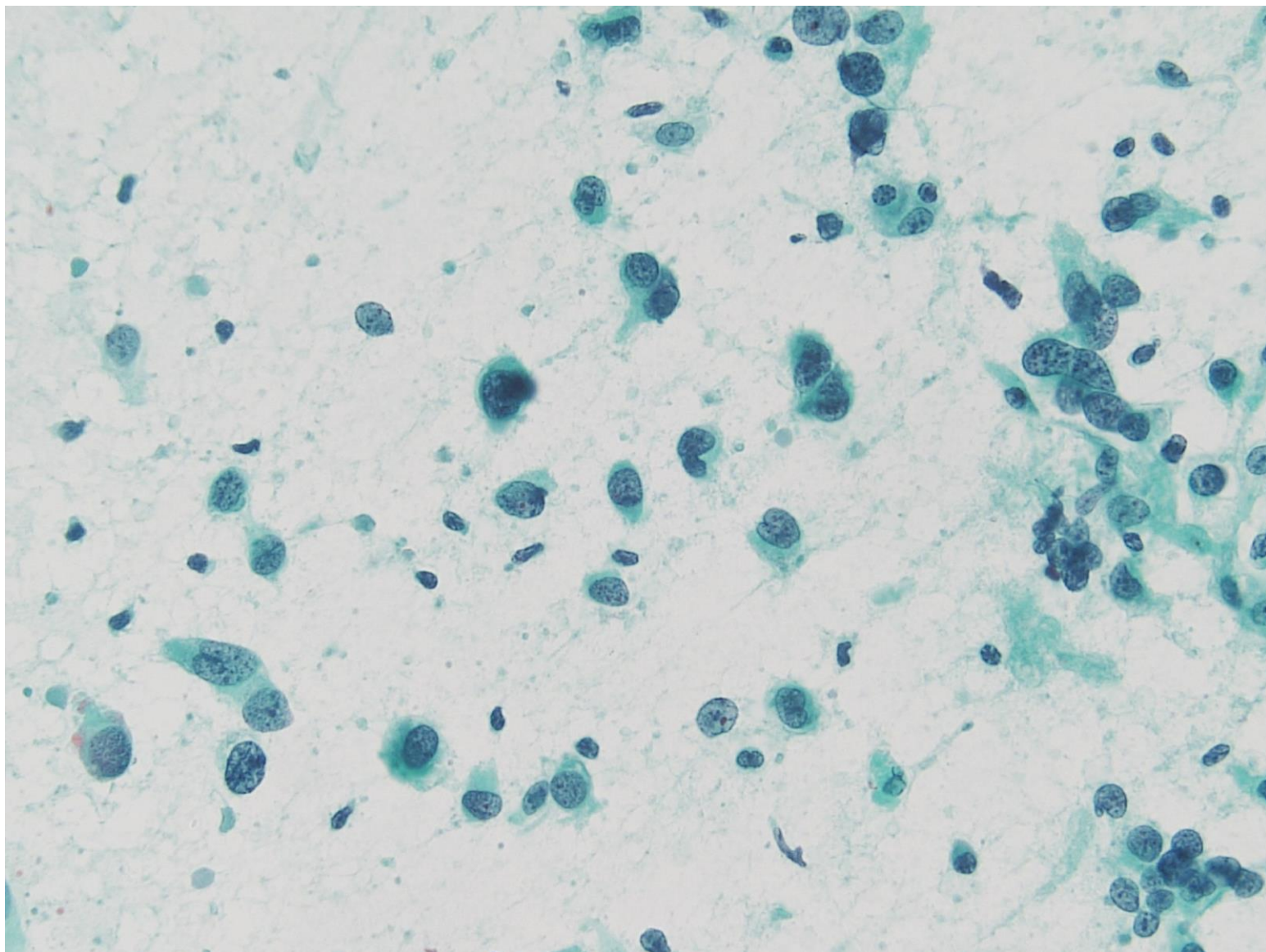
腺癌では上皮内腺癌、微小浸潤性腺癌、置換型腺癌で、シート状や平面的細胞集塊に混在して孤立性細胞が散在して認められる。

腺房型腺癌、乳頭型腺癌、微小乳頭型腺癌、充実型腺癌などの分化度の低い部分が含まれている場合でも、細胞の結合性が低下しているため、孤立性細胞がみられることがある。

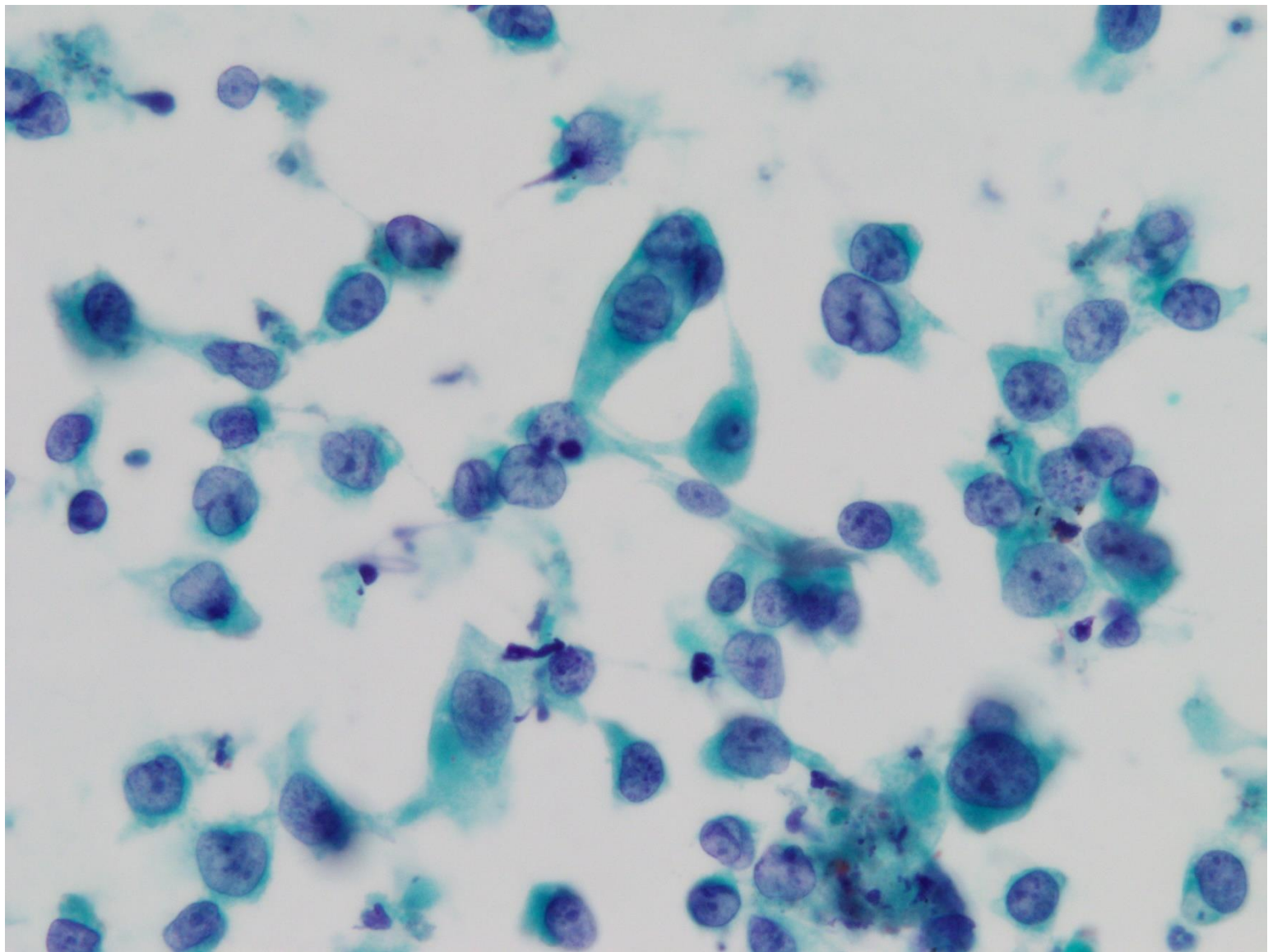
扁平上皮癌では、喀痰材料で細胞間結合が緩いため、孤立性細胞が多く認められる。しかし、擦過や穿刺などの新鮮な材料では、孤立性細胞だけでなく、平面的あるいは立体的重積性集塊を呈することが多いため、腺癌との鑑別が難しい場合がある。



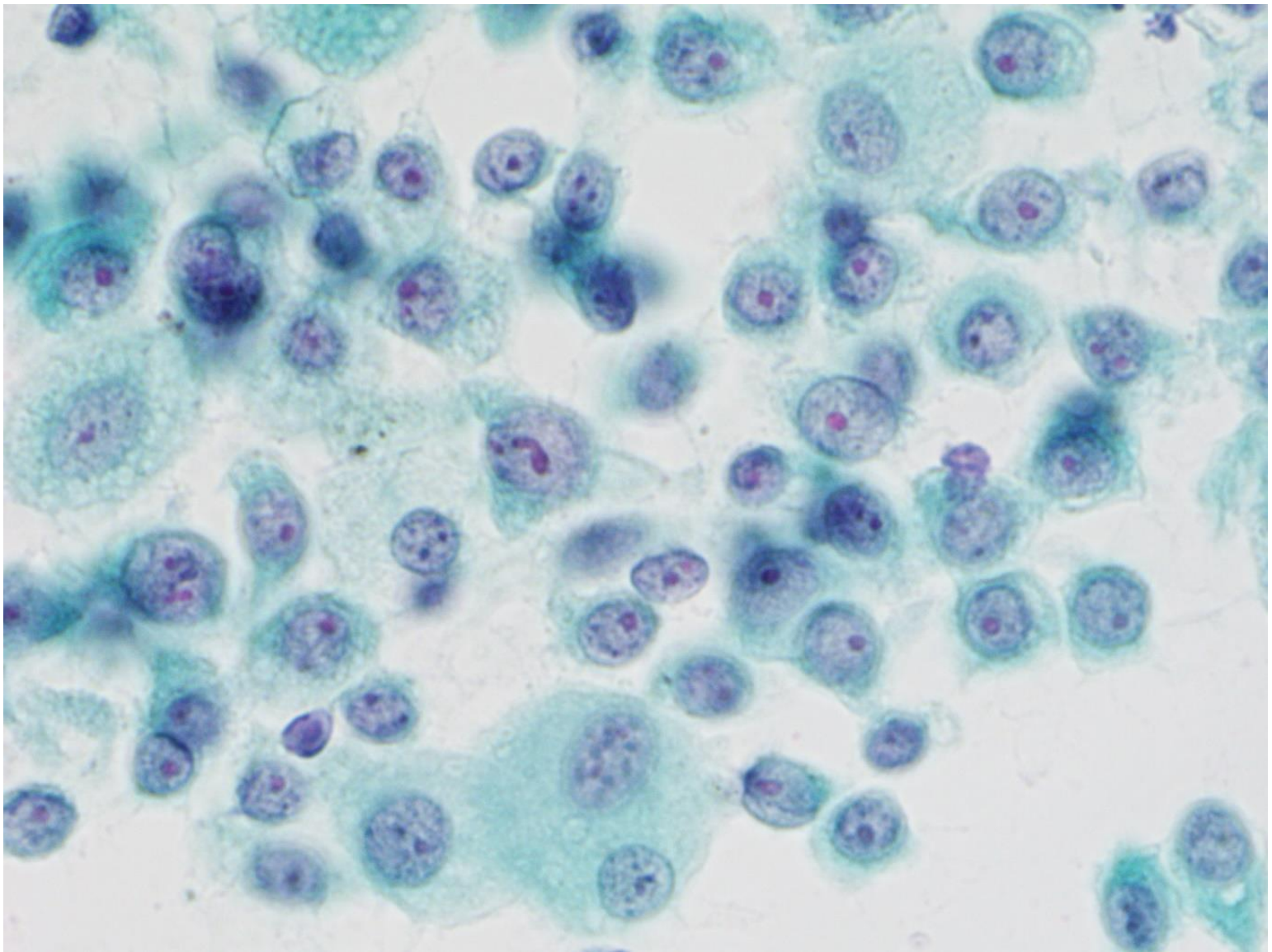
定型例 ①-1 (EBUS-TBNA、腺癌、用語の一致率100%) : 腫瘍細胞の結合性は乏しく、バラバラに存在している。左上で一部結合しているように見えるが、全体像を重視し、孤立性と判定する。



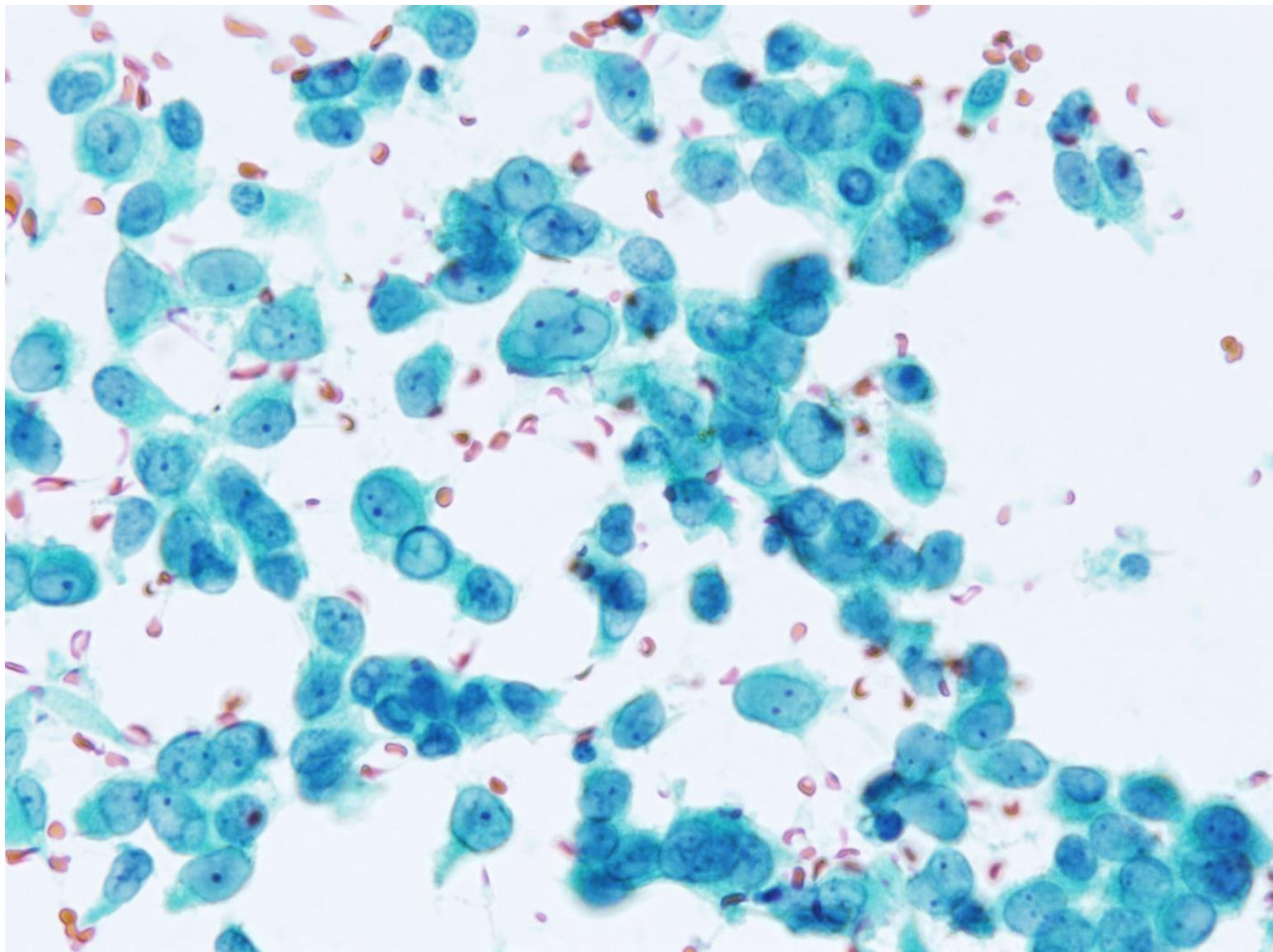
定型例 ①-2(擦過、腺癌、用語の一致率90%) : 腫瘍細胞の結合性は乏しく、バラバラに存在している。右上で一部結合しているように見えるが、全体像を重視し、孤立性と判定する。



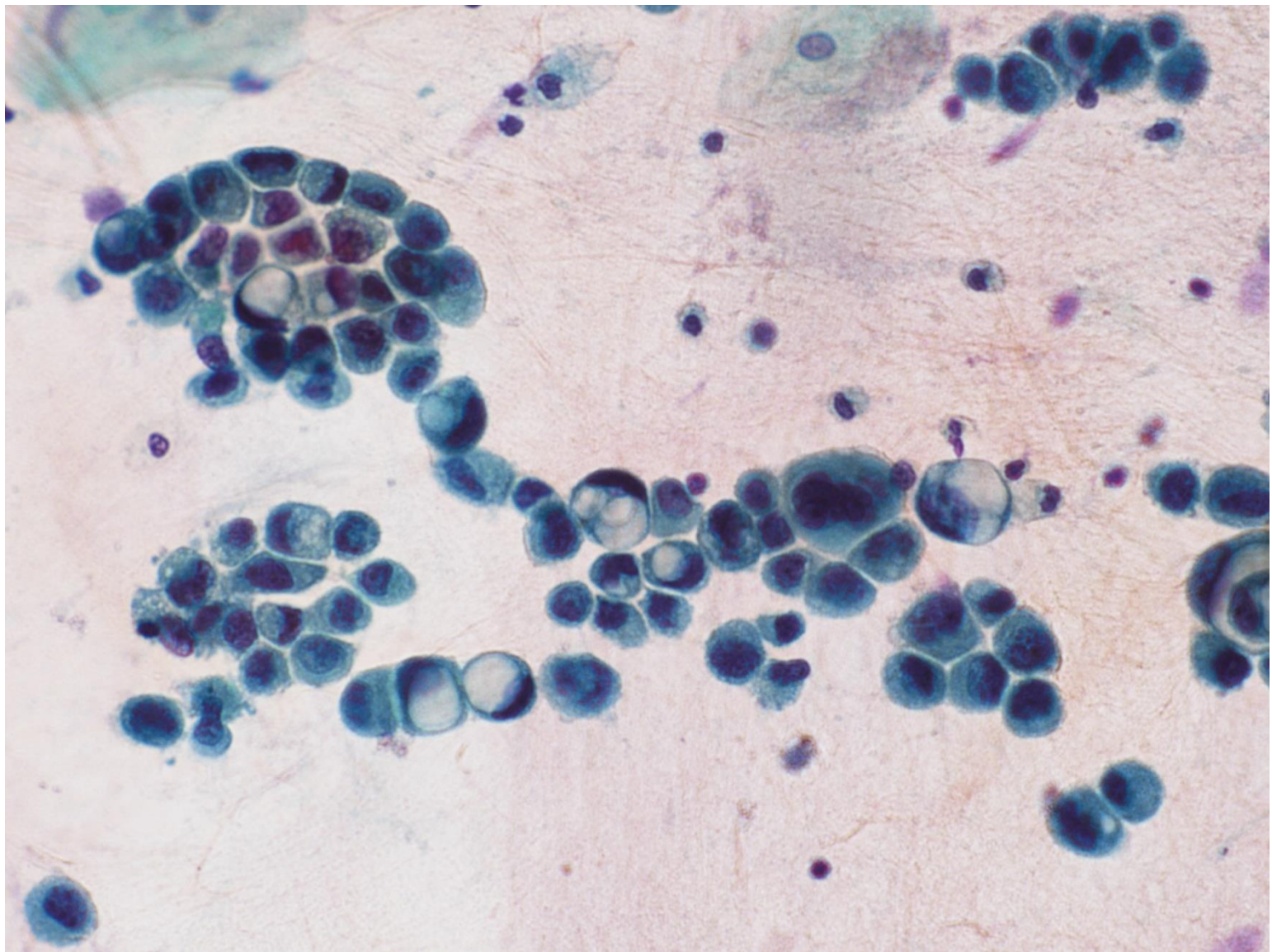
定型例 ①-3(生検捺印、腺癌、用語の一致率80%): 右端で一部腫瘍細胞が結合しているように見える部分もあるが、大部分では結合性に乏しく、バラバラに存在しているため、孤立性と判定する。



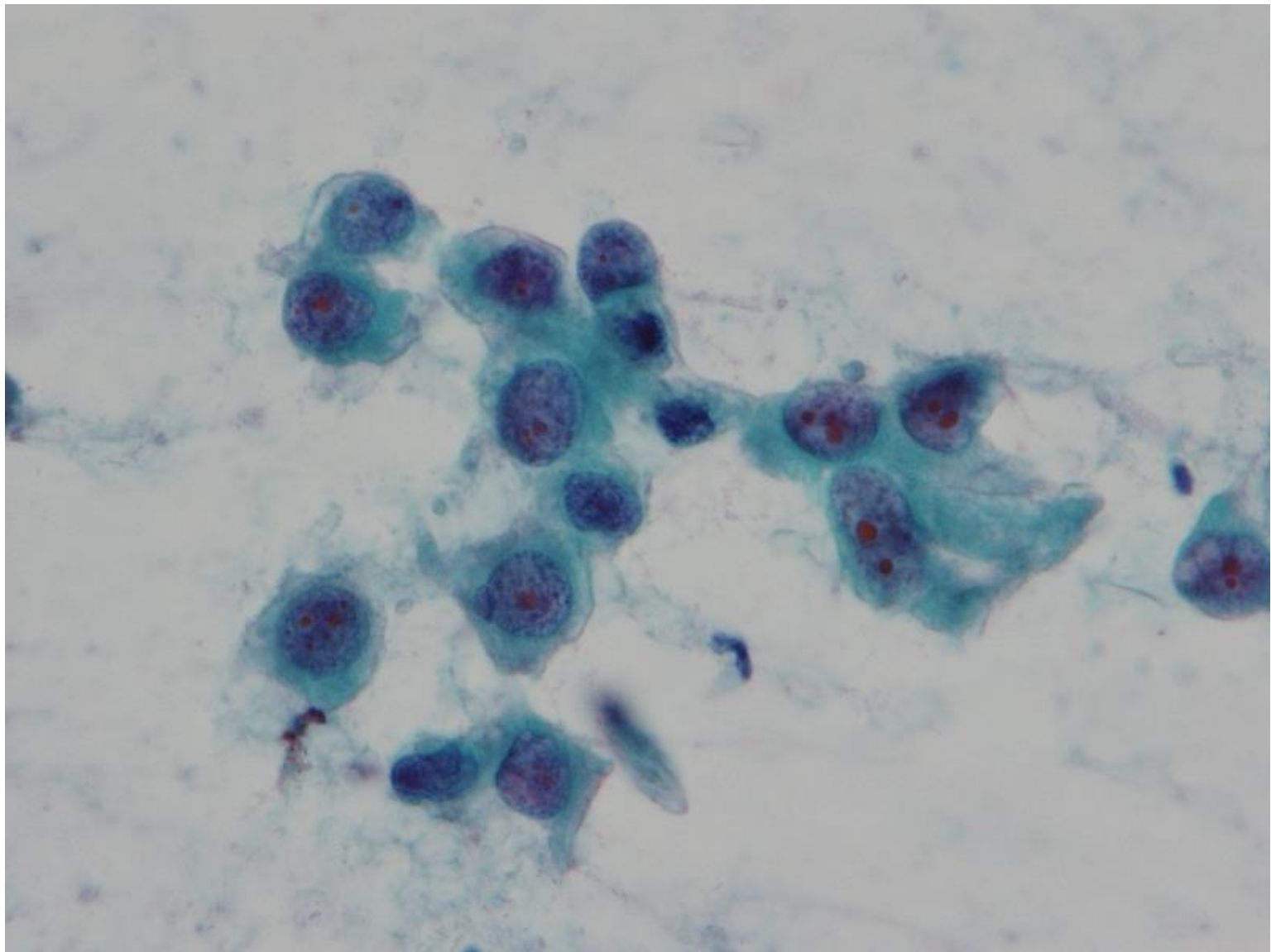
定型例 ①-4 (捺印、腺癌、用語の一致率90%) : 細胞質が不明瞭な腫瘍細胞の結合性は乏しく、写真全体でバラバラに存在している。マクロファージも混在している。全く結合性がみられないため、孤立性と判定する。



①-5(擦過、腺癌、用語の一致率30%): 写真右側では腫瘍細胞の結合性のある平面的な細胞集塊と同時に、左側では結合性の低下した孤立性の細胞が認められる。そのため、平面的+孤立性と判定する。



①-6(擦過、腺癌、用語の一致率50%): 腫瘍細胞の結合性は緩いが、一部では結合して集合しているようにもみえる。全体像からは平面的な配列で、結合性の緩い細胞集塊と判定する。孤立性とは判定しない。



①-7(擦過、腺癌、用語の一致率0%): 腫瘍細胞の結合性は緩いが、大部分の細胞は結合している。そのため、平面的な配列で、結合性の緩い細胞集塊と判定する。孤立性とは判定しない。